

「1年1研究」地道な活動に功績

エイジレス・ライフ表彰に阿蘇ホテルの会

内閣府が表彰するエイジレス・ライフ社会参加活動事例に、阿蘇ホテルの会（湯浅陸雄会長、20人）が選ばれ10月4日、市役所で受賞伝達式が行われました。同会は昭和52年に発足以来、河川の水质調査などを行い、ホテルの人工う化に成功。発生地マップ作製や鑑賞会などを長年にわたり行うなど精力的に活動しています。また、約20年前からは、「1年1研究」をモットーに、ホテルの研究のみならず、桜や有害雑草の調査など、多岐にわたる献身的な研究を続けており、その活動による功績が認められました。



受賞した阿蘇ホテルの会の湯浅陸雄会長（左）

わだい



倒壊した拝殿前で安全を祈願

阿蘇神社の復旧工事に着手

祈願祭で工事の安全祈る

熊本地震により被害を受けた阿蘇神社の社殿復旧工事が着手し10月31日、安全祈願祭が行われ、工事業者などの関係者約40名が出席し工事の安全を祈願しました。国指定重要文化財の指定を受ける楼門のほか5棟は、総事業費9億3000万円をかけ、平成34年3月までの再建を見込み、また、文化財未指定の拝殿の解体工事も併せて着手します。阿蘇治隆宮司は楼門復旧に際し、「英知を結集し、高い専門技術をもって必ずや復旧がなされるものと期待したい」と話しました。

チェンソー1本でベンチ制作

仮設住宅で暮らす住民に寄贈

全日本チェンソーアート協会（内藤済会長）が11月3日、チェンソーアートでスギ材を加工したベンチ2脚を農村公園あびか横の北塚仮設団地の住民に寄贈しました。国内外のチェンソー大会で活躍するカーバー4人が、直径約40センチのスギ加工のようすを実演、住民らが見守る中、1時間ほどでフクロウやクマなどをかたどった4つの土台を制作し、2脚のベンチを完成させました。内藤会長は「地震後も大変だと思っただけで、このベンチで少しでも癒していただければ」と住民に言葉をかけました。

わだい



チェンソーでフクロウをかたどる様子

表彰



受賞を報告する佐藤義勝会長（中央）と藤井文人楽長（左）

長年の伝承活動高く評価

中江岩戸神楽保存会が伝統文化ポークラ賞受賞

波野地域の中江岩戸神楽保存会（佐藤義勝会長）が、伝統文化ポークラ地域賞を受賞し10月31日、佐藤会長らが市役所を訪れ、佐藤市長に受賞を報告しました。伝統文化ポークラ賞は、日本国内の貴重な伝統文化に貢献し、さらなる活躍と業績の向上を奨励する団体・個人に贈られるもので、これまで289の個人や団体が受賞。中江岩戸神楽は長年の伝承活動が高く評価されたものです。また、子どもたちへの継承にも力を入れており、佐藤会長は「子どもたちの舞う姿を見ると嬉しく思う」と喜びを語りました。

お待たせ！青少年交流の家が一部再開

久しぶりの催しに来場者笑顔！

わだい



熊本地震の被害により休館中だった国立阿蘇青少年交流の家（森山都留男所長）が11月1日に一部再開し同20日、「交流の家はみんなの広場」と題しステージイベントなどの催しが行われ、千人を超える多くの家族連れで賑いました。同交流の家は、年間約14万人が訪れる国内最大級の施設ですが、地震により宿泊室をはじめ多くの箇所が被災。10月の中岳噴火の際にも被害が相次ぎ、早期の再開に向け復旧工事が行われてきました。

「交流の家の再開で阿蘇地域の活性化につながるようみんなが満足できる施設を目指したい」と、森山所長。来年3月まではグラウンドを除く全ての施設が使用可能となる見込みです。

九州・全国大会出場選手紹介

●農業鑑定競技会（森林の部）（10.25～27 / 大阪府）

第67回日本学校農業クラブ全国大阪大会

松岡拓人（阿蘇中央高校グリーン環境科3年 / 阿蘇中出身）

●柔道競技

（11.19・20 / 福岡県）

九州高校新人柔道大会

嶋田沙緒里（霧島市立国分中央高校1年 / 阿蘇中出身）
[団体戦1位・個人戦-70kg級2位]

（敬称略）

●マーチング（12.18 / 埼玉県）

第44回マーチングバンド全国大会

高橋沙綾（専修大学玉名高校2年 / 一の宮中出身）

地方創生に関する連携協定締結

肥後銀行と阿蘇市が経済活性化に向け連携

肥後銀行（甲斐隆博代表取締役頭取）と阿蘇市は11月7日、地方創生に関する連携協定を結び、締結式を行いました。

肥後銀行は、これまでに棚田での田植えや稲刈りのほか、植樹、阿蘇世界農業遺産基金への寄付など、阿蘇地域でさまざまな活動を展開。今後、この取り組みを継続するとともに、阿蘇地域の創造的復興と新たな地方創生への取り組みを連携して行うために協定を結んだものです。

この協定により、これからの阿蘇地域の活力創造に向けて、肥後銀行と協力できる取り組みを進めていきます。

表彰



協定を交わした甲斐頭取（左）と阿蘇市長

わだい



市役所玄関前で旗を披露する笹原会長（左）

チャレンジワード入りのぼり旗制作

阿蘇ロータリークラブがのぼり旗寄贈

阿蘇ロータリークラブ（笹原俊和会長、35人）が11月2日、阿蘇市が策定したチャレンジワード（下記参照）などを記載したのぼり旗千本を阿蘇市に寄贈しました。

地震からの復興を後押ししようとして、阿蘇市のチャレンジワード「人がつながり創りだす新しい阿蘇」などと書かれたのぼり旗を制作。この日、佐藤市長らとともに市役所などに設置しました。

「この旗が復興へのムードづくりと、市民の元気の源になればなにより」と、笹原会長。旗は学校や観光施設などに設置されます。

阿蘇市チャレンジワードを策定しました！

人がつながり 創りだす 新しい阿蘇
～ ONLY ONE の世界へ～

阿蘇市は、発足以来、「未来を拓く活力ある人づくり」をまちづくりの基本理念に定め、「人」という資源を生かす基盤づくりに取り組んで来ました。今後は、この取り組みをさらにステップアップさせ、市民・事業者・行政などが協働で阿蘇市らしさを探究し、絶えず前にチャレンジし続ける「新しいまちづくり」を進めていきます。

※チャレンジワードはどなたでも活用できますので、さまざまな場面でご活用ください。（営利目的の場合は事前に申請が必要です。詳しくは阿蘇市ホームページをご覧ください）

☎市役所財政課 企画係 ☎ 22-3204

表彰



長年の交通事故防止活動に功績

橋本幸生氏に交通安全功労者表彰

地域社会における交通安全に貢献し、顕著な功績のあった個人及び団体に贈られる熊本県交通安全功労者表彰式が10月19日、熊本県庁で行われ、阿蘇市交通指導員の橋本幸生氏（小地野）が熊本県交通安全功労者表彰を受賞しました。

橋本氏は、交通指導員として長年にわたって街頭指導やイベントなどにおける交通指導を務め、市の交通事故防止に大きく貢献。毎月3回の街頭指導をはじめ、地元小学校で開催される交通安全教室に参加するなど、交通安全意識の高揚にも尽力しています。

グルメ、アウトドアで阿蘇をPR

阿蘇マルシェ&大阿蘇ジャンボリー

わだい



アンティーク雑貨などを品定めする来場者

阿蘇の特産品やアウトドア体験を楽しめるイベント「阿蘇マルシェ」と「大阿蘇ジャンボリー」が11月6日、小里の観光施設などで開かれ、1万人以上の来場がありました。

初めての開催となった大阿蘇ジャンボリーは、阿蘇市の有志などで作る実行委員会（富澤礼司委員長）が、地震により冷え込む地域経済の活性化と元気な阿蘇を広くPRしようと初めて企画。市内外から約120店舗が出店し、阿蘇の特産品やアンティーク雑貨の販売、アウトドア体験などが催され、多くの来場者が秋の阿蘇を満喫しました。

わだい



スカイダイビングを終え、メンバーと交流する生徒たち

大空から阿蘇にエールを！

スカイダイビング披露に生徒興奮

内牧温泉街繁栄会は11月9日、清涼飲料水の販売などを手掛けるレッドブルジャパンと共催し、阿蘇中学校でスカイダイビングを披露する復興支援企画を催しました。

阿蘇の子どもたちに空からエールを送ろうと企画されたもので、映画などにも出演経験のあるレッドブルエアフォースチームの4人が、阿蘇市の上空約3000呎をヘリコプターからダイブ。阿蘇の上空から滑空し、子どもたちに元気を届けました。

同校運動場では生徒が「THANKS」と人文字で描き出迎え、降り立ったメンバーと交流を深めました。